



# 東宝の90年 モダンと革新の映画史(2)

The 90th Anniversary of Toho:  
A Film History of Modernization and Innovation [Part 2]

2022年10月4日(火) — 12月25日(日)

本特集の休映日: 月曜日および10月15日(土) - 16日(日)、  
25日(火) - 30日(日)、12月10日(土)

主催: 国立映画アーカイブ  
協力: 東宝株式会社



TOHO

\* 会期、上映スケジュールおよびチケットの発売日、定員の変更等の場合はHPでお知らせします。

\* マスク着用のない方の入館をお断りします。

\* 来館者全員に検温を行います。37.5℃以上の方は入館をお断りします。



国立映画アーカイブ  
National Film Archive of Japan

国立映画アーカイブ [地下1階]  
小ホール

定員=151名(各回入替制・全席指定席)  
開映後の入場はできません。

電子チケットは  
座席選択可能

チケット料金

一般: 520円 / 高校・大学生: 65歳以上: 310円 / 小・中学生: 100円 / 障害者(付添者は原則1名まで)・キャンパスメンバーズ・未就学児・優待: 無料

- 料金区分の違うチケットでは入場できません。差額のお支払で観覧することはできません。
- 学生、65歳以上、障害者、キャンパスメンバーズの方は証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。
- 未就学児、優待の方は「障害者または付添者等券」をお求めください。

● チケット購入方法の詳細は8頁、または国立映画アーカイブHPをご覧ください。

下記に該当する方は購入をお控え願います。

新型コロナウイルス感染症について

- 陽性判定、あるいは医師に自宅待機指示を受けている方
- 検査結果待ち、あるいは体調不良の諸症状がある方
- ご自身の身近に感染の疑いがある方
- 過去14日間以内に、陽性の方と濃厚接触がある方、感染が拡大している国・地域への訪問歴がある方

入場方法

- 開場は開映30分前です。
- チケットQRコードをスマホ画面、または印刷されたものでご提示ください。特集名、作品名はチケットに表示されませんので、お間違いないようご注意ください。

表紙画像: 男ありて ©1955 TOHO CO., LTD.



← 国立映画アーカイブHP

長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。  
上映会番号456

小ホール  
上映作品東宝の90年  
モダンと革新の映画史(2)

## The 90th Anniversary of Toho:

A Film History of Modernization and Innovation [Part 2]

1932(昭和7)年、阪神急行電鉄社長の小林一三が株式会社東京宝塚劇場を創立してから、本年で90周年を迎えます。本邦初の本格的トーキー企業として発足した写真化学研究所(P.C.L.)と、その自主製作部門にあたるP.C.L.映画製作所、同じくトーキー事業の将来性に着目し、京都で発足したJ.O.スタジオなど4社が東宝株式会社のもとに吸収合併され、今日にいたる東宝の製作・配給・興行の一貫体制の基盤が確立しました。ハリウッドに範を仰いで導入されたプロデューサー・システムによる経営の合理化や、特撮などの技術革新によって日本映画界に新風を巻き起こし、都会的でモダンな感覚で描かれるミュージカル・コメディから、経験豊かな巨匠の手がける文芸作品にいたるまで、良質な娯楽映画を数多く送り出してきました。

今夏に開催されたPart 1に続く本企画では、Part 2として、1933年の『音楽喜劇 ほろよひ人生』から2014年の『鯛ノ記』まで、各年代のハイライトといえる名作・ヒット作のみならず、戦中から戦後にかけて東宝の手がけた教育・文化映画や、『三等重役』(1952)をはじめとするサラリーマン喜劇など、プログラム・ピクチャーの隠れた秀作群にも光を当てます。さらには提携作品も含め、さまざまなジャンル・監督の東宝作品計55本(48プログラム)を上映します。また、展示室で開催中の企画展「脚本家 黒澤明」と連動して、黒澤明が脚本を執筆した作品計10本(10プログラム)の上映も行います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

- ⑤=監督 ⑥=演出 ⑦=原作・原案 ⑧=脚本・脚色 ⑨=撮影 ⑩=美術 ⑪=音楽 ⑫=出演
- スタッフ、キャスト欄の人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 特集には不完全なプリントや状態の悪いプリントが含まれていることがあります。

## マスク着用のない方の入館をお断りします。

## 当館の新型コロナウイルス感染症拡大防止策

- 来館者全員への検温を実施。
- 館内各所に手指用消毒液を設置。
- 清掃・消毒を強化。
- ホール内の換気を強化。
- スタッフはマスク・手袋等を着用して対応。
- 受付などの対面場所に飛沫ガードを設置。

## ご来館の皆様へお願い

- 発熱や風邪などの症状がある方は、来館をお控えください。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 館内で体調を崩された場合は、スタッフにお知らせください。
- こまめな手洗いや手指の消毒にご協力ください。
- 入退場やご観覧の際は、互いに適切な距離を保つようお願いいたします。
- ロビー等での飲食は、蓋の開まる飲み物以外は禁止させていただきます。
- 感染発生時の入館者追跡のため、ご自身で入館日時の記録をお願いします。

・フィルム情報に **NEW** とある作品はニュープリントでの上映です。

1 10/4(水)15:00 10/7(金)19:20 10/13(木)19:00

## 音楽喜劇 ほろよひ人生

(77分・35mm・白黒・英語字幕付 with English subtitles)

日本初の本格的トーキースタジオを備えていた写真化学研究所(P.C.L.)が、大日本麦酒とタイアップして製作した記念すべき第1回作品。同社初の専属監督・木村莊十二は、四社協定などで上映の場が洋画専用の映画館に限られていたことを逆手にとって、アメリカ映画を彷彿とさせるモダンで明朗なタッチでビール売り娘(千葉)をめぐる恋の鞘当てを描き、日本映画の新風を印象づけた。

1933(P.C.L.) ⑤木村莊十二 ⑥松崎啓次 ⑦鈴木博 ⑧山崎醇之輔 ⑨兼常清佐、紙恭輔、奥田良三 ⑩藤原釜足、千葉早智子、大川平八郎、丸山定夫、横尾泥海男、吉谷久雄、古川緑波、徳川夢声

2 10/4(水)19:00 10/8(土)15:40 10/14(金)15:00

## 戀愛の責任(71分・35mm・白黒)

日本の前衛芸術運動の旗手であり、絵画や小説に演劇の演出など、多方面で活躍した村山知義が、新興P.C.L.の期待を背負って監督デビューした作品。亡き父の残した負債のために財産を差し押さえられた姉妹は、行く手に待つ禍を乗り越えて新しい恋に目覚める。村山はテンポの速い台詞廻しや、カットごとのカメララングルに才気溢れる工夫を凝らし、男性への隷属から解放されたモダンな女性像を提示した。

1936(P.C.L.) ⑤村山知義 ⑥岡田鉄兵 ⑦鈴木博 ⑧久保一雄 ⑨伊藤昇 ⑩堤真佐子、竹久千恵子、細川ちか子、大川平八郎、北沢彪、佐伯秀男、丸山定夫、清川玉枝、三好久子、近藤伊与吉、三島雅夫

3 10/5(木)19:00 10/8(土)18:00 10/12(水)15:00

## 白薔薇は咲けど(77分・35mm・白黒)

P.C.L.入江ユニット製作による音楽映画。銀座の洋品店のお針子・篤子(入江)は恋愛や結婚に強い憧れを持っている。ひとりぼっちの休日、たまたま立ち寄った遊園地で、ある男性(佐伯)と出会うが…。自宅で入江が一人夜食をとる場面など三浦光男(光雄)の撮影が素晴らしい。監督の伏水修は1930年代のモダンなP.C.L.=東宝作品を支えた。

1937(P.C.L.) ⑤伏水修 ⑥西條八十 ⑦東坊城恭長、田中千禾男 ⑧三浦光男 ⑨山崎醇之輔 ⑩古賀政男 ⑪入江たか子、佐伯秀男、沢蘭子、北村季江、水上怜子、宮野照子、清川玉枝、御橋公、江戸川蘭子

4 10/5(木)15:00 10/11(水)15:00 10/14(金)19:00

## 阿部一族(105分・35mm・白黒)

日活多摩川の一翼を担った熊谷久虎の東宝入社第1作。肥後藩主の死去に際して殉死を許されなかった阿部一族の武士たちは、その後の処遇に反旗を翻すも次第に窮地に立たされてゆく。全篇にわたり夜の陰影を繊細に捉えた映像美が印象的で、緻密な時代考証を導入した重厚な歴史映画となった。河原崎長十郎、中村翫右衛門以下、前進座の俳優たちが総出演した。

1938(東宝映画・東京) ⑤熊谷久虎 ⑥森鷗外 ⑦安達伸男 ⑧鈴木博 ⑨北猛夫 ⑩深井史郎 ⑪河原崎長十郎、中村翫右衛門、山岸しづ江、堤真佐子、市川笑太郎、橋小三郎、市川進三郎、山崎島二郎



白薔薇は咲けど

©1937 TOHO CO., LTD.

5 11/2(水)15:00 11/5(土)18:20

## 戦ふ兵隊(66分・35mm・白黒)

陸軍省の後援による漢口攻略作戦の従軍記録で、監督の亀井文夫自身も戦地へ赴いて撮影が行われた。消耗した兵士たちや家を失った難民たちの姿を静かに見つめた描写が、軍部が期待する戦意昂揚とは相容れず上映不許可となった。また、映画全体の構成を見る演出家とフィッダー内の映像に専心するカメラマンとの姿勢の相違をめぐり、亀井と三木茂との間でいわゆる「ルーベ論争」が戦わされた。

1939(東宝映画文化映画部) ⑤亀井文夫 ⑥三木茂 ⑦現地録音 藤井慎一 ⑧金山欣二郎 ⑨古閑裕和

## 東宝文化映画シリーズ 医者のおない村(13分・35mm・白黒)

1939年施行の映画法により、映画興行者に対して文化映画の強制上映が可能になった。その後に製作された本作では、巡回診療班の一行により、多くの病人を抱える村に自前の診療所の設置が促される。戦時下に病人ばかりが登場する映画を厭戦的のみならず内務省検閲官に対し、製作者側は国民衛生上の有益性を説くことで公開にごぎつめた。

1940(東宝映画文化映画部) ⑤伊東壽恵男 ⑥白井茂 ⑦服部正

6 10/6(木)15:00 10/8(土)13:00 10/11(水)19:00

## 樋口一葉(83分・35mm・白黒)

樋口一葉の半生を描いた伝記映画。師と慕う半井桃水(高田)との仲を裂かれた一葉(山田)は、老母と妹を養うだけ荒物屋をはじめ。一度は恋愛を棄てた一葉が、久ほりに訪ねた桃水にほすてに将来を約束した女性の存在が…。明治ものが得意とした久保一雄が美術を担当し、荒物屋が営まれていた吉原の遊廓界隈を見事に再現した。

1939(東宝映画・東京) ⑤並木鏡太郎 ⑥八住利雄 ⑦町井春美 ⑧久保一雄 ⑨菅原明朗 ⑩山田五十鈴、高峰秀子、澤村貞子、堤真佐子、椿澄枝、英百合子、水町庸子、清川虹子、澁谷正代、大川平八郎、高田稔

7 10/6(木)19:00 10/9(日)13:00 10/13(木)15:00

## 化粧雪(75分・35mm・白黒)

成瀬巳喜男の原作を、東宝京都撮影所で実作の道を歩もうとしていた映画評論家の岸松雄が脚色。病気で降板した成瀬に代わり『夜の鳩』(1937)、『花ちりぬ』(1938)などで女性の描写に高い評価を得ていた石田民三が監督を務めた。客足もまばらな寄席を切り盛りする勝子(山田)の苦難に満ちた日々と、さびれた下町の趣が、当時「一流」と称賛された映像美で描き出される。

1940(東宝映画・東京) ⑤石田民三 ⑥成瀬巳喜男 ⑦岸松雄 ⑧山崎一雄 ⑨久保一雄 ⑩太田忠 ⑪山田五十鈴、藤原釜足、大川平八郎、汐見洋、清川虹子、伊東薫、佐山亮、深見泰三、藤輪欣司、宮野照子、一龍齋貞山

8 10/7(金)15:00 10/9(日)15:30 10/12(水)18:40

## 釣鐘草(59分・35mm・白黒)

石田民三にとって『花つみ日記』(1939)に続く、高峰秀子主演による吉屋信子原作物。「女学生のバイブル」と呼ばれた少女小説『花物語』の一篇をもとに、不遇な少女(高峰)が弟(小高)のために自活しようと師範学校に進むが、思わぬ展開となる。なお、1935年に新興キネマ(東京)にて川手二郎監督により霧立のぼる主演で初映画化された。

1940(東宝映画・東京) ⑤石田民三 ⑥吉屋信子 ⑦八住利雄 ⑧唐沢弘光 ⑨北辰雄 ⑩飯田信夫 ⑪高峰秀子、小高たかし、澤村貞子、高堂國典、御橋公、河田京子、北澤彪、清水美佐子、林喜美子

## 三尺左吾平(74分・35mm・白黒)

身の丈が三尺三寸の左吾平(榎本)は、身長と同じ長さの刀を差し、俊足が自慢のお人好し。伊達騒動を背景に、権力争いの陰謀に巻き込まれた小人物の悪戦苦闘を飄々と描く。石田民三の戦中最後の監督作であり、太平洋戦争末期の状況下で喜劇王エノケンが得意としていた荒唐無稽なギャグやアクロバティックな躍動が抑制されており、淡々とした風情が漂う。

1944(東宝) ⑤石田民三 ⑥三村伸太郎 ⑦友成達雄 ⑧島康平 ⑨栗原重一 ⑩榎本健一、高峰秀子、黒川彌太郎、伊藤智子、横山運平、志村喬、清川莊司、尾上榮三郎



21 12/20(水)15:00 12/23(金)18:40

### 雪国 (133分・35mm・白黒)

戦前から小津安二郎、五所平之助などが映画化を狙っていたが実現できずにいた川端康成の同名小説を豊田四郎が映画化。雪深い温泉場を舞台に、結ばれぬと知りながらどうしても離れられない男女の愛の悶えが切々と綴られる。原作の有名な冒頭を再現したオープニングをはじめ、原作の行間に込められた情感が、雪国の美しい風物と岸恵子、池部良の繊細な演技によって画面ににじみ出る。

1957(東宝)◎豊田四郎◎川端康成◎八住利雄◎安本淳◎伊藤嘉朗◎園真◎回伊玖磨◎池部良、岸恵子、八千草薫、久保明、田中春男、中村彰、浪花千栄子、多々良純、森繁久彌、加東大介

22 11/8(火)19:00 11/11(金)15:00 11/13(日)13:00

### サラリーマン出世太閤記

(87分・35mm・白黒) NEW

東宝お家芸の「サラリーマンもの」新シリーズ第1作。北海道出身の大学4年生である木下秀吉(小林)は、ワンマン社長(加東)の鶴の一声で自動車会社に入社する。しかし型破りな性格と持ち前の闘志が空回りして、研修中に相撲自慢の社長を打ち負かしてしまう。戦後のサラリーマン社会をシニカルに描いた喜劇映画だが、前作の『大安吉日』(1957)でも腕の冴えを見せた新進の寛正典がシリーズ全5作品を手がけた。

1957(東宝)◎寛正典◎笠原良三◎小泉一◎小川一男◎松井八郎◎小林桂樹、宝田明、加東大介、安西郷子、団令子、白川由美、越路吹雪、藤木悠、土屋嘉男、東郷晴子、宮田洋容、清水一郎、有島一郎

23 12/20(水)19:00 12/22(木)15:00 12/25(日)13:00

### こだまは呼んでいる (86分・35mm・白黒)

山あいを走るバスの運転手(池部)と車掌(雪村)のドラマを軸として、地方の町村部の人間模様を描いた好篇。抒情的な音楽は、成瀬巳喜男とのコンビで作定評のある斎藤一郎が手がけた。本多猪四郎は特撮映画で知られるが、文芸作品や女性ドラマにも携わり、ウェルメイドな娯楽映画の路線を支えた。本多は助監督時代に山本嘉次郎と成瀬に付いており、淡淡としたリズムの心理描写に影響を受けたと語っている。

1959(東宝)◎本多猪四郎◎棚田吾郎◎芦田勇◎北辰雄◎斎藤一郎◎池部良、雪村いづみ、沢村貞子、藤木悠、飯田蝶子、千石規子、沢村いき雄、左ト全、横山道代、若水やエ子、小柳久子

24 12/21(木)19:00 12/24(土)15:30

### 貸問あり (112分・35mm・白黒)

大阪のアパート屋敷を舞台に、奇妙な住人たちが騒動を繰り広げる。原作者の井伏鱒二を怒らせたといわれる異色作だが、川島雄三にとっては、汚さの中から生きることの悲しさを浮かび上がらせようと「悲鳴」をあげたと語る思い入れの一作。「出来損ないのゲテモノ」と自分を恥じ、ついに逃避するフランキー扮する男は、喜劇の形で積極的逃避というテーマを描き続けた川島に重なる人物である。

1959(宝塚映画)◎川島雄三◎井伏鱒二◎藤本義一◎岡崎宏三◎小島基司◎真鍋理一郎◎フランキー堺、淡島千景、乙羽信子、浪花千栄子、清川虹子、桂小金治、山茶花究、藤木悠、小沢昭一

25 12/1(木)19:00 12/4(日)13:00

### 野獣死すべし (96分・35mm・白黒)

相次ぐ殺人事件の真相を追う真杉(小泉)は、ある大学院生(仲代)が書いた文章を読み、彼が犯人だと直感するが…。日本におけるハードボイルド小説の先駆者と評される大藪春彦のデビュー作を映画化。既成の道徳を否定してのし上がろうとする男の物語が、監督の須川栄三をはじめとする20代のスタッフ、俳優によって畳み込むようなテンポで展開され、次世代の登場を強烈に印象づけた。

1959(東宝)◎須川栄三◎大藪春彦◎白坂依志夫◎小泉福造◎浜上兵衛◎黛敏郎◎仲代達矢、小泉博、団令子、東野英治郎、白川由美、中村伸郎、佐藤允、滝田裕介、三好栄子

26 11/10(木)15:00 11/12(土)18:20

### 黒い画集 あるサラリーマンの証言

(95分・35mm・白黒)

松本清張による「黒い画集」の一篇「証言」が原作で、ある殺人事件で証人となった男が、自らの浮気を隠すために偽証し、その嘘が思わぬ結果を招いていく。主演の小林桂樹は、明朗なサラリーマン喜劇で人気を博したが、本作では窮地に立たされた男を演じ、その年の主要な映画賞を総なめにした。

1960(東宝)◎堀川弘通◎松本清張◎橋本忍◎中井朝一◎村木忍◎池野成◎小林桂樹、原知佐子、平田昭彦、江原達怡、西村晃、中北千枝子、三津田健、中村伸郎、織田政雄、佐々木孝丸、八色賢典

27 12/13(水)19:00 12/15(金)19:00 12/18(日)13:00

### お姐ちゃんはずいてるぜ

(87分・35mm・カラー) NEW

「三人娘」シリーズの発展型といえる「お姐ちゃん」シリーズは自由な女性像を打ち出したコメディで、1作完結式で設定が変遷する。この6作目では、TVアシスタントディレクター、自動車教習所の指導員、オートクチュールのお針子である3人がルームシェアして同居し、お互いの恋人に目移りする。既成概念に縛られず人生を謳歌する女性たちの連帯が描かれ、「シスターフッド」の観点からも興味深い。

1960(東宝)◎寛正典◎白坂依志夫◎完倉泰一◎村木忍◎神津善行◎団令子、重山規子、中島そのみ、高島忠夫、瀬木俊一、岡田真澄、上原謙

28 12/9(金)15:00 12/17(土)12:30

### 名もなく貧しく美しく (129分・35mm・白黒)

松山善三が日比谷で見かけたろう者の靴磨きの夫婦からヒントを得て、戦後の混乱した時代を貧しくも健気に生きる夫婦の姿を描いた監督第1作。周縁的な存在だったろう者同士の会話を、字幕を通して見せる／聞かせる試みが注目されたが、空間的隔たりや騒音にも途切れなく続く2人の会話が数々の美しい場面を生み出している。高峰秀子はサンフランシスコ国際映画祭で主演女優賞を受賞した。

1961(東京映画)◎松山善三◎玉井正夫◎中古智、狩野健◎林光◎高峰秀子、小林桂樹、原泉、島津雅彦、玉田秀夫、沼田曜一、草笛光子、加山雄三

29 11/9(水)19:00 11/12(土)15:30

### 社長道中記 (90分・35mm・カラー)

東宝のドル箱となった「社長」シリーズ中の1本で、黒澤明の「用心棒」との2本立て公開により大ヒット。久々の大阪出張に心躍らせる道楽社長(森繁)と随行する堅物社員(小林)との掛け合いが軽妙な喜劇映画だが、「現場ではアドリブの連続」(鈴木斌)だったという。松林宗恵はシリーズ全33本中23本を監督した。

1961(東宝)◎松林宗恵◎源氏鶏太◎笠原良三◎鈴木斌◎浜上兵衛◎古関裕而◎森繁久弥、加東大介、小林桂樹、団令子、淡路恵子、新珠三千代、三橋達也、久慈あさみ、浜美枝、飯田蝶子、三木のり平

30 11/9(水)15:00 11/11(金)19:00

### 喜劇 駅前弁当 (88分・35mm・カラー) NEW

『駅前旅館』(1958、豊田四郎)に始まる「駅前」シリーズの第3作。浜松駅前のお弁当屋を舞台に、店を切り盛りする未亡人(淡島)とその弟(堺)、未亡人に想いを寄せる織物会社社長(森繁)とストリップ劇場の経営者(伴)が巻き起こす騒動を描く。おなじみの面々に加えて喜劇界の大物・花菱アチャコや当時人気絶頂の坂本九らが顔を揃え、シリーズ最高傑作との呼び声も高い。

1961(東京映画)◎久松静児◎長瀬喜伴◎黒田徳三◎狩野健◎広瀬健次郎◎森繁久弥、伴淳三郎、フランキー堺、淡島千景、坂本九、淡路恵子、黛ひかる、アチャコ、柳家金語楼、加東大介



サラリーマン出世太閤記

©1957 TOHO CO., LTD.

31 12/13(水)15:00 12/17(土)19:00

### マトンゴ (89分・35mm・カラー)

7人の男女が巨大キノコのマトンゴが棲息する無人島に漂着する。『ゴジラ』(1954、本多猪四郎)の立役者・田中友幸プロデューサーが特撮映画の新たなモデルを模索中にW・H・ホジソンの「闇の声」に目をとめたことで始まった企画。新素材だった発泡スチロールで具現化した生々しい質感のマトンゴと不気味に響く笑い声が、人間を極限まで追い込む恐怖の世界を作り上げている。

1963(東宝)◎本多猪四郎◎星新一、福島正実、ウィリアム・ホープ・ホジソン◎木村武◎小泉一◎坂本英二◎育野重一◎別宮貞雄◎久保明、小泉博、土屋嘉男、水野久美、八代美紀、佐原健二、太刀川寛

32 11/10(木)19:00 11/13(日)16:00

### 江分利満氏の優雅な生活 (102分・35mm・白黒)

戦後の復興を担った戦中派サラリーマンのほろ苦い心情を吐露した直木賞受賞作を、作者と同年代の監督と主演者が共感をこめて映画化したインテリ小市民の戦後史。軽妙洒落、融通無碍を旨とする岡本喜八流演出の粋が冴えわたる。ひょんなことから作家デビューする平凡な会社員を演じた小林桂樹の原作者・山口瞳に似せた役作りも話題となった。

1963(東宝)◎岡本喜八◎山口瞳◎井手俊郎◎村井博◎浜上兵衛◎佐藤勝◎小林桂樹、新珠三千代、東野英治郎、ジェリー伊藤、中丸忠雄、横山道代、平田昭彦、江原達怡、北あけみ

33 11/29(水)19:00 12/3(土)16:00

### 血とダイヤモンド (96分・35mm・白黒)

神戸税関を通過したダイヤモンド原石をめぐる、4人組強奪犯は緊迫した一夜を過ごし、ギャング団や悪徳探偵が横取りを狙う。福田純の緻密な演出が冴える秀作。東宝傘下の宝塚映画製作所は戦前の宝塚映画を前身として1951年開設、1953年の全焼を経て1956年に再建された大規模な設備を誇った。アクションをはじめ時代劇から恋愛映画や文芸作品まで、関西を舞台とする作品を強みとして、1978年までに176本の映画を製作した。

1964(宝塚映画)◎福田純◎小川英、間藤守之◎宇野晋作◎竹中和◎澤田駿吾◎宝田明、佐藤允、夏木陽介、水野久美、中川ゆき、藤木悠、志村喬、田崎潤、砂塚秀夫、伊藤久哉、石立鉄男

34 12/1(木)15:00 12/3(土)13:00

### 国際秘密警察 火薬の樽 (96分・35mm・カラー) NEW

「007」シリーズに刺激され、「暗黒街」シリーズに続くアクションものとして企画された「国際秘密警察」シリーズの第3作。地球上に散在するミサイルをわが物にし、世界を制覇しようと企む世界統一同盟と国際秘密警察官との息詰まる闘いを描く。和製ジェームズ・ボンド三橋達也の華麗な銃さばきから工夫を凝らした14種類の特殊武器まで、見どころ満載の痛快なアクション・コメディ。

1964(東宝)◎坪島孝◎関沢新一◎山田一夫◎植田寛◎広瀬健次郎◎三橋達也、佐藤允、中丸忠雄、水野久美、星由里子、田崎潤、二瓶正也、若林映子、松本染升、ハロルド・コンウェイ



こだまは呼んでいる

©1959 TOHO CO., LTD.

35 10/19(水)15:00 10/23(日)13:00

### あこがれ(85分・35mm・カラー)

信子(内藤)は同じ養護施設で育った一郎(田村)と再会して惹かれあうが、周囲の反対に揺れて動く。『赤ひげ』(1965、黒澤明)でデビューし、東宝テレビ部が制作に携わったドラマ『氷点』(1966)で人気沸騰した内藤洋子の初主演作。木下恵介執筆のドラマ『記念樹』(1966-67)をもとに弟子の山田太一が脚色した。恩地日出夫が2年のブランクを脱し、名脇役陣と敏腕スタッフに支えられて新鮮な青春メロドラマを開花させた。

1966(東宝)◎恩地日出夫◎木下恵介◎山田太一◎逢沢謙◎育野重一◎武満徹◎内藤洋子、田村亮、新珠三千代、小沢昭一、加東大介、賀原夏子、沢村貞子、乙羽信子、小夜福子

36 10/20(木)15:00 10/22(土)18:20

### 俺たちの荒野(91分・35mm・カラー)

米軍基地のある福生で、夢を語りあい恋に戯れる男女3人が劇的に輝く。本作製作の金子正且は成瀬巳喜男、鈴木英夫、岡本喜八らの作品を手がけ、1960-70年代には若手を起用して青春映画の傑作群を送り出した。友の会会報誌『東宝映画』の寄稿者・中井正より着想を得て、脚本に山田信夫に専事した20代の重森孝子を抜擢。男同士の愛に似た関係性や寄り添う少女の優しさを鮮烈に演出した出目昌伸は、日本映画監督協会新人奨励賞を受賞した。

1969(東宝)◎出目昌伸◎中井正◎重森孝子◎中井朝一◎竹中和雄◎真鍋理一郎◎黒沢年男、東山敬司、酒井和歌子、原知佐子、赤座美代子、清水元、左ト全

37 12/14(水)19:00 12/16(金)15:00 12/18(日)16:00

### 華麗なる闘い(94分・35mm・カラー) NEW

有吉佐和子の小説『仮縫』を大野靖子が脚色、岸、内藤のスター共演による『東宝女性映画大作』として公開された。洋裁学校に通う隆子(内藤)は、著名なデザイナーの松平ユキ(岸)にスカウトされて彼女の店で働くことになる。新進気鋭のデザイナーとして注目を集め始める隆子だったが、同時に嫉妬と競争の渦に飲み込まれていく。アンドレ・クレージュの作品を使用したショー場面など、当時のファッション業界の動向を取り入れつつ、一人の少女の変化をヴィヴィッドに描く。『街に泉があった』(1968)で監督昇進した浅野正雄の3作目。

1969(東宝)◎浅野正雄◎有吉佐和子◎大野靖子◎中井朝一◎村木忍◎八木正生◎岸恵子、内藤洋子、田村正和、神山繁、浜木綿子、平田昭彦、山田はるみ、藤あきみ、北あけみ、市川和子、長岡輝子、岸輝子

38 11/30(水)15:00 12/3(土)19:00

### 白昼の襲撃(89分・35mm・カラー) NEW

1960年代から70年代にかけて、東宝は須川栄三や西村潔を監督に、「東宝ニューアクション」と呼ばれるスタイリッシュかつ陰影のあるアクション映画を数多く生み出した。本作は前年の『死ぬにはまだ早い』で鮮烈なデビューを飾った西村の監督第2作目。大学生や学生運動に複雑な想いを抱く若者(黒沢)が拳銃を手に入れる…。ジャズ・トランペッターの目野皓正が初めて映画音楽を担当。黒沢年男(年雄)はワイルドな魅力と繊細さを兼ね備えたスターとして、60年代から70年代にかけて東宝の青春、アクション映画で活躍した。

1970(東京映画)◎西村潔◎菊村到◎白坂依志夫◎黒田徳三◎小島基司◎目野皓正◎黒沢年男、高橋紀子、緑魔子、岸田森、出情況、殿山泰司

39 10/19(水)19:00 10/22(土)12:30

### 赤頭巾ちゃん 気をつけて

(89分・35mm・カラー) NEW

『日本沈没』(1973)以前に青春映画の名手として評価されていた森谷司郎の代表作。ブームとなった芥川賞受賞作をもとに、生き方を模索する18歳の自意識と欲望を描く。一般公募による新進コンビが主演し、顔が知られていないゆえ自然な街頭ロケが成功した。ベテラン撮影監督の中井朝一は若手作家と組むの好み、各作品に変幻自在なタッチで貢献したが、本作では繊細な映像感覚を発揮。

1970(東宝)◎森谷司郎◎庄司薫◎井手俊郎◎中井朝一◎久根繁◎いずみ・たく◎岡田裕介、森和代、森秋子、中尾彬、富川激夫、風見章子、山岸映子

40 10/21(金)19:00 10/22(土)15:30

### 青春の蹉跎(84分・35mm・カラー)

石川達三のベストセラー小説を映画化した神代辰巳初の一般作品。学生運動に挫折した法学生賢一郎(萩原)は、資産家の令嬢(檀)と結婚して打算的な人生を送ろうとするが、やがて恋人(桃井)との関係のうちに追いつめられていく。主人公が口ずさむ『エンヤット』のリズムや随所に挿入されるTV画面など、倦怠感に苛まれる同時代の若者の「気分」が横溢している。

1974(東京映画=渡辺企画)◎神代辰巳◎石川達三◎長谷川和彦◎姫田真久◎育野重一◎井上堯之◎萩原健一、桃井かおり、檀ふみ、河原崎建三、森本レオ、高橋昌也、赤座美代子、芹明香

41 10/18(水)15:00 10/20(木)19:00 10/23(日)15:40

### 急げ! 若者(85分・35mm・カラー)

ジャニーズ事務所の人気4人組フォーリーブスを主演に、孤児院を出た少年たちがスターの座をつかむまでの苦い経験を描く青春映画。1970年代にはグループ・サウンズの退潮とともにアイドル歌謡が隆盛を迎え、男性アイドルの中ではダンスと歌を華麗に織り交ぜたフォーリーブスが絶大な人気を誇った。当時人気上昇中の郷ひろみも好演している。本作を皮切りに、小谷承靖は東宝のアイドル映画路線の一翼を担うことになる。

1974(東宝=ジャックプロ)◎小谷承靖◎田波靖男◎上田正治◎藤谷和夫◎広瀬健次郎◎北公次、おりも政夫、江木俊夫、青山孝、郷ひろみ、日色ともゑ、岡田真澄

42 12/14(水)15:00 12/16(金)19:00

### 血を吸う薔薇(83分・35mm・カラー)

女子大学に赴任してきた教員(黒沢)が大学に巣食う吸血鬼と対決する。ミステリー・SF小説家でもあるプロデューサーの田中文明のもと、カルト的な人気となった和製ホラー『血を吸う』シリーズの3作目。真鍋理一郎の音楽も相まって、山本迪夫監督によるロマンチズム溢れる恐怖世界が展開する。当時、『急げ! 若者』と2本立てで上映された。

1974(東宝映像)◎山本迪夫◎小川英、武末勝◎原一民◎藤谷和夫◎真鍋理一郎◎黒沢年男、田中邦衛、佐々木勝彦、岸田森、望月真理子、太田美緒、桂木美加、荒牧啓子、麻里とも恵、伊藤雄之助

43 12/6(水)15:00 12/8(木)15:00

### 細雪(140分・35mm・カラー)

過去に2度映画化された谷崎潤一郎の同名小説を、市川崑監督が東宝創立50周年記念作品として再映画化。佐久間、吉永、岸、古手川というスター女優を配し、大阪船場の旧家に生まれた4姉妹の目々の営みを描いている。市川は、戦前の大阪の上流家庭を再現すべく美術や話し言葉の細部にまでこだわると同時にモダンな感覚を盛り込み、絢爛たる映像絵巻に仕立ててみせた。

1983(東宝映画)◎市川崑◎谷崎潤一郎◎日高真也◎長谷川清◎村木忍◎大川新之助、渡辺俊幸◎佐久間英子、吉永小百合、岸恵子、石坂浩二、古手川祐子、伊丹十三、江本孟紀、岸部一徳、桂小米朝、細川俊之



俺たちの荒野

©1969 TOHO CO., LTD.



白昼の襲撃

©1970 TOHO CO., LTD.

44 10/18(水)19:00 10/21(金)15:00

### 恋する女たち(98分・35mm・カラー)

氷室冴子の同名小説の映画化。金沢を舞台に、恋愛に慎重な多佳子(齊藤)ら少女たちの揺れる心情を瑞々しいタッチで描いている。前年に東宝映画『雪の断章-情熱-』(相米慎二)で映画女優として注目を浴びた齊藤由貴のコミディエンヌの資質が開花した一作であり、以後、大森一樹監督とのコンビで『トットチャンネル』(1987)、『さよならの女たち』(1987)などの主演作が立て続けにつくられた。

1986(東宝映画)◎大森一樹◎氷室冴子◎宝田武久◎村木与四郎◎あしひち哲郎◎齊藤由貴、高井麻巳子、相楽ハル子、小林聡美、菅原薫、原田貴和子、上田耕一、川津祐介、蟹江敬三、柳葉敏郎

45 11/30(水)19:00 12/2(金)15:00

### 誘拐(109分・35mm・カラー)

特撮映画や時代劇を中心としていた1990年代の製作状況の中、現代劇の娯楽大作として企画された意欲作。新人女性脚本家・森下直の城戸賞受賞作により、街中での公開身代金受け渡しに度肝を抜く刑事サスペンスを展開する。1973年に東宝に入社した大河原孝夫は助監督時代に森谷司郎作品や『影武者』(1980、黒澤明)に付き、この監督6作目で新機軸を打ち出した。

1997(東宝映画)◎大河原孝夫◎森下直◎木村大作◎部谷京子◎服部隆之◎渡哲也、永瀬正敏、酒井美紀、柄本明

46 12/6(水)18:40 12/11(日)12:30

### 世界の中心で、愛をさけぶ

(138分・35mm・カラー) NEW

同名ベストセラー小説の映画化だが、原作には書かれていない大人になった主人公を軸に据え、失踪した婚約者を探すミステリー展開と高校時代の純愛を交錯させて描く。新進作家として起用された行定勲は35mmフィルム撮影による映像表現を追求し、近年では異例な「天気待ち」を経て、ヴィヴィッドな色調の晴天での回想場面と荒涼とした曇天での現在描写を対照的に際立たせた。

2004(『世界の中心で、愛をさけぶ』製作委員会)◎行定勲◎片山恭一◎坂元裕二、伊藤ちひろ◎篠田昇◎山口修◎めいぬCo.◎大沢たかお、柴咲コウ、長澤まさみ、森山未來、高橋一生、山崎努



赤頭巾ちゃん 気をつけて

©1970 TOHO CO., LTD.



急げ! 若者

©1974 TOHO CO., LTD.



恋する女たち

©1986 TOHO CO., LTD.

47 12/7(水)18:40 12/11(日)16:00

### 悪人(139分・35mm・カラー) NEW

吉田修一の同名小説の映画化。殺人事件の加害者と彼を愛した女性、そして被害者遺族それぞれの葛藤が描かれる。それまで善良な青年のイメージが強かった妻夫木聡が、鬱屈を抱えた主人公を演じ、新境地を開いた。本作は2010年のキネマ旬報ベストテン第1位に選出されたほか、海外でも高く評価され、第34回モントリオール世界映画祭では深津絵里が最優秀女優賞に輝いた。

2010(『悪人』製作委員会)◎李相日◎吉田修一◎笠松利通◎種田陽平◎久石讓◎妻夫木聡、深津絵里、岡田将生、樹木希林、柄本明、宮崎美子、満島ひかり、光石研

48 12/7(水)15:00 12/8(木)18:40

### 蝸ノ記(129分・35mm・カラー) NEW

無実の罪で3年後に切腹する運命にある秋谷(役所)。監視役の藩命を受けた庄三郎(岡田)は、秋谷の気高い生き方に触れて成長していく。黒澤明に師事し、彼の遺作脚本『雨あがる』(2000)を演出した小泉堯史が、葉室麟の直木賞受賞作を映画化。複数のカメラ、望遠レンズの使用など、黒澤組の技法を駆使した演出に窺える小泉の師への思いは、秋谷と庄三郎の師弟愛に重なる。

2014(『蝸ノ記』製作委員会)◎小泉堯史◎葉室麟◎古田秀◎上田正治、北澤弘之◎酒井賢◎加古隆◎役所広司、岡田准一、堀北真希、原田美枝子、青木崇高、寺島しのぶ、三船史郎、井川比佐志

### 小特集

#### 脚本家 黒澤明

展示室で開催中の企画展「脚本家 黒澤明」に関連し、自身の監督作ではないが、黒澤明が脚本を創作した10作品を上映する。中には、若き修業時代のノンクレジット作品もあれば、谷口千吉、稲垣浩、堀川弘通など東宝撮影所の盟友たちにシナリオを捧げた映画、同世代の俊英木下恵介との交流を示す仕事もあり、演出の鮮やかさだけでなく、黒澤の物語世界の広さや人脈の幅広さを感じ取ることができるだろう。

49 11/16(水)15:00 11/23(水)16:00 11/26(土)15:30

### 幡随院長兵衛(81分・35mm・白黒) NEW

江戸時代に起こった侠客と旗本の対立を描く時代劇で、黒澤脚本の中でも最初に映像化された作品。完成作では山本嘉次郎と吉田二三夫(千葉泰樹の筆名)が脚本担当になっているが、黒澤が記した創作ノートには自ら手がけたものとして記されている。前進座のために書かれた戯曲を原作とし、河原崎長十郎はじめ同劇団の俳優が多数出演している。

1940(南旺映画)◎千葉泰樹◎藤森成吉◎山本嘉次郎、吉田二三夫◎中井朝一◎小池一美◎深井史郎◎汐見洋、嵐芳三郎、河原崎長十郎、山岸しづ江、坂東調右衛門、中村新右衛門、助高屋助蔵、千田是也、瀬川菊之丞

50 11/16(水)19:00 11/26(土)13:00

### 虎造の荒神山(67分・35mm・白黒)

博徒たちの縄張り争いに清水次郎長一家が絡むという、講談や浪曲でよく知られた「荒神山の喧嘩」をもとにした青柳信雄のデビュー作。完成時の脚本家クレジットは八住利雄単独になったが、黒澤の創作ノートには自身の仕事としてリストアップされている。のちに青柳は小説『姿三四郎』の映画化権を黒澤が得ようとした際に手助けをした。

1940(東宝映画・東京)◎青柳信雄◎八住利雄◎山崎一雄◎中智智◎松平信博◎黒川彌太郎、山根壽子、澤村昌之助、眞木順、一ノ瀬綾子、下田猛、高堂國典、進藤英太郎、廣澤虎造、美ち奴

51 11/17(木)15:00 11/26(土)18:00

### 青春の氣流(87分・35mm・白黒)

助監督時代の黒澤は脚本執筆を精力的に行い、コンクールで入賞するなど着実に業績を築いていた。本作は、彼が脚本家として初めてクレジットされたものである。若き設計士(大日方)が理想の航空機作りに邁進する様子を、恋愛模様と絡めて綴るメロドラマ。黒澤の兄弟子で、若くして病没した伏水修の遺作。

1942(東宝映画)◎伏水修◎南川潤◎黒澤明◎伊藤武夫◎松山崇◎服部良一◎原節子、山根壽子、大日方博、藤田進、中村彰、進藤英太郎、清川莊司、眞木順、下田猛、玉井旭洋、北澤彰

52 11/17(木)19:00 11/22(水)15:00 11/27(日)13:00

### 愛の世界 山猫とみの話(93分・35mm・白黒)

幼くして親を失った少女とみ(高峰)は、引き取られた曲馬団に助けられ養護院に入所した。先生の指導をよそとみは院を抜け出すが、食べ物盗みに入った農家で幼い兄弟と知り会い徐々に心を開いてゆく。こうしとみの設定では、黒澤が敬愛するドストエフスキーの『泥げられた人びと』の影響を見ることも可能である。脚本の黒川慎は黒澤の筆名とされる。

1943(東宝映画)◎青柳信雄◎佐藤春夫、坪田譲治、高澤有馬男◎如月敏、黒川慎◎伊藤武夫◎藤原野矢◎谷英二◎中智智◎鈴木静一◎高峰秀子、小高つとむ、加藤博司、里見藍子、谷間小百合、田中筆子、一の宮敦子、加藤照子、高津慶子

53 11/18(金)15:00 11/25(金)19:00

### 肖像(73分・35mm・白黒)

黒澤と木下恵介、1943年監督デビューの2人によるコラボレーション。上映会で隣同士になったことがきっかけで、木下が黒澤に脚本を依頼した。不動産屋の愛人(井川)が、同居した一家の善良さに感化されていく。返礼として木下も黒澤に脚本を託すが、企画は実現せず、木下自身の手で『日本の悲劇』(1953)として映画化された。

1948(松竹大映)◎木下恵介◎黒澤明◎楠田浩之◎小島基司◎木下忠司◎井川邦子、三宅邦子、三浦光子、菅井一郎、東山千栄子、小澤栄太郎、藤原釜足、佐田啓二、桂木洋子、安部徹、山路義人

54 11/19(土)18:30 11/27(日)16:00

### ジャコ萬と鉄(90分・35mm・白黒)

梶野憲三の『鯨漁場』を黒澤と谷口千吉の共同で脚色。黒澤の兄弟子に当たる谷口の監督第2作目である。北海道の鯨漁場を舞台に繰り広げられる、無法者・ジャコ萬(月形)と網元の息子・鉄(三船)による男同士の闘い。1964年に高倉健、丹波哲郎主演、深作欣二監督で再映画化されたが、その際は黒澤と谷口による脚本が用いられている。

1949(東宝=49年プロ)◎谷口千吉◎梶野憲三◎黒沢明◎瀬川順一◎北辰雄◎伊福部昭◎三船敏郎、月形龍之介、濱田百合子、久我美子、進藤英太郎、英百合子、藤原釜足、清川虹子、島田敬一

55 11/18(金)19:00 11/23(水)13:00

### 殺陣師段平(104分・35mm・白黒)

髪結いの妻お春(山田)に支えられ、歌舞伎流の殺陣一筋で生きてきた市川段平(月形)が、新国劇の澤田正二郎(右太衛門)の目指すリアリティな新しい剣劇に魅せられ、命の限り奮闘する。マキノの回想によると、映画化にあたってマキノは黒澤の脚本を大幅に手直ししたという。

1950(東横京船)◎マキノ雅弘◎長谷川幸延◎黒沢明◎三木滋人◎堀保治◎大久保次郎◎市川右太衛門、月形龍之介、山田五十鈴、横山エンタツ、月丘千秋、進藤英太郎、杉狂児、加藤嘉、高松錦之助

56 11/19(土)15:30 11/24(木)19:00

### 戦国無頼(短縮版)(105分・35mm・白黒)

東宝の創立20周年記念作品として企画され、井上靖の同名小説を黒澤と稲垣浩が脚色、稲垣が監督を務めた。織田信長に滅ぼされた浅井長政の家臣たちの流転を、男女のロマンスを絡めて骨太に綴る。音楽を担当した團伊玖磨の長篇映画デビュー作で、当時話題となっていた團の歌劇『夕鶴』を見た稲垣や山口淑子からの推薦で起用に至ったという。

1952(東宝)◎稲垣浩◎井上靖◎黒沢明◎飯村正◎北猛夫◎團伊玖磨◎三船敏郎◎三國連太郎、市川段四郎、山口淑子、浅茅しのぶ、志村喬、東野英治郎、香川良介、青山杉作、高堂國典



幡随院長兵衛

©1940 TOHO CO., LTD.

57 11/22(水)19:00 11/25(金)15:00

### あすなる物語(108分・35mm・白黒)

黒澤組の助監督を務めた堀川弘通の初監督作。監督昇進を記念して黒澤が脚本を執筆した。一人の少年が人々との交流を通じて青年へと成長するさまを3部構成で描く。第3部はツルゲーネフの『初恋』を下敷きとする。本作で堀川は黒澤譲りの粘り強い製作を展開したものの、予算や日程を度外視した態度が経営陣から問題視され、数本のあいた助監督に逆戻りとなった。

1955(東宝)◎堀川弘通◎井上靖◎黒澤明◎山崎一雄◎河東安英◎早坂文雄◎久保賢、鹿島信哉、久保明、岡田茉莉子、根岸明美、久我美子、木村功、小堀誠、浦邊条子、村瀬幸子、三好榮子

58 11/20(日)15:30 11/24(木)15:00

### 姿三四郎(159分・35mm・白黒)

若き黒澤明の『姿三四郎』(1943)と『續 姿三四郎』(1945)の内容を合わせ、オリジナルの黒澤脚本により近い構成の大長篇となったリメイク作品。「若大将」シリーズで人気絶頂期の加山雄三を主演に、前作主演の藤田進より若々しい、伸び伸びとした三四郎像を生み出している。三船と加山の師弟関係は同年公開の『赤ひげ』にもつながる。

1965(宝塚映画=黒澤プロ)◎内川清一郎◎富田常雄◎黒澤明◎小泉福造◎水谷浩◎佐藤勝◎加山雄三、山崎努、岡田英次、加東大介、伊藤雄之助、九重佑三子、原知佐子、志村喬、三船敏郎



青春の氣流

©1942 TOHO CO., LTD.

### 展示室(7階)

【企画展】常設展「NFA」コレクションでみる 日本映画の歴史も併設されています。

### 脚本家 黒澤明

Akira Kurosawa, Screenwriter

2022年8月2日(火)―11月27日(日)

\* 月曜日および9月6日(火)―9日(金)、9月27日(火)―10月2日(日)は休室です。

主催:国立映画アーカイブ

企画協力:横田寿文

協力:黒澤プロダクション、株式会社K&K Bros.

映画監督黒澤明は、幾多の名脚本家に支えられて傑作映画を生み出しましたが、その若き日から、ドストエフスキーやバルザックといった文豪の影響を受けながら自身もシナリオを執筆することで成長しました。本展覧会では、『七人の侍』(1954)などの脚本の生成過程を分析し、他の監督への提供脚本、新発見の未映像化脚本も加えて、黒澤作品の専門家の協力のもと「シナリオ作家黒澤」の創作の秘密を解き明かします。

開室時間=11:00-18:30(入室は18:00まで)

\* 毎月末金曜日は11:00-20:00(入室は19:30まで)

料金(常設展・関連企画共通)=一般250円(200円)

／大学生130円(60円)／65歳以上・高校生以下及び

18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)・国立

映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

( )内は20名以上の団体料金です。

\* 学生、65歳以上、障害者、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。

\* 2022年11月3日(木)「文化の日」は、無料でご覧いただけます。

\* 国立映画アーカイブの上映観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

### ポスターで見る映画史 Part 4

#### 恐怖映画の世界(仮)

Film History in Posters Part 4: Horror Films (tentative)

2022年12月13日(火)―2023年3月26日(日)

主催:国立映画アーカイブ

# 東宝の90年 モダンと革新の映画史(2)

The 90th Anniversary of Toho: A Film History of Modernization and Innovation [Part 2]

10月	4 曜	10/4 曜～9 日上映回の チケット販売開始: 9/27 曜10:00～	15:00	① 音楽喜劇 ほろよひ人生 (77分)	19:00	② 恋愛の責任 (71分)		
	5 曜		15:00	④ 阿部一族 (105分)	19:00	③ 白薔薇は咲けど (77分)		
	6 曜		15:00	⑥ 樋口一葉 (83分)	19:00	⑦ 化粧雪 (75分)		
	7 日		15:00	⑧ 釣鐘草／三尺左吾平 (計133分)	19:20	① 音楽喜劇 ほろよひ人生 (77分)		
	8 日	13:00	⑥ 樋口一葉 (83分)	15:40	② 恋愛の責任 (71分)	18:00	③ 白薔薇は咲けど (77分)	
	9 日	13:00	⑦ 化粧雪 (75分)	15:30	⑧ 釣鐘草／三尺左吾平 (計133分)			
	11 曜	10/11 曜～14 日上映回の チケット販売開始: 10/4 曜10:00～	15:00	④ 阿部一族 (105分)	19:00	⑥ 樋口一葉 (83分)		
	12 曜		15:00	③ 白薔薇は咲けど (77分)	18:40	⑧ 釣鐘草／三尺左吾平 (計133分)		
	13 曜		15:00	⑦ 化粧雪 (75分)	19:00	① 音楽喜劇 ほろよひ人生 (77分)		
	14 日		15:00	② 恋愛の責任 (71分)	19:00	④ 阿部一族 (105分)		
	18 曜	10/18 曜～23 日上映回の チケット販売開始: 10/11 曜10:00～	15:00	④④ 急げ! 若者 (85分)	19:00	④④ 恋する女たち (98分)		
	19 曜		15:00	⑤⑤ あこがれ (85分)	19:00	⑤⑤ 赤頭巾ちゃん 気をつけて (89分)		
	20 曜		15:00	⑥⑥ 俺たちの荒野 (91分)	19:00	④④ 急げ! 若者 (85分)		
	21 日		15:00	④④ 恋する女たち (98分)	19:00	④④ 青春の蹉跌 (84分)		
22 日	12:30		⑤⑤ 赤頭巾ちゃん 気をつけて (89分)	15:30	④④ 青春の蹉跌 (84分)	18:20	⑥⑥ 俺たちの荒野 (91分)	
23 日	13:00		⑤⑤ あこがれ (85分)	15:40	④④ 急げ! 若者 (85分)			
11月	1 曜	11/1 曜～6 日上映回の チケット販売開始: 10/25 曜10:00～	15:00	⑫ 或る夜の殿様 (112分)	19:00	⑨ ハナ子さん (71分)		
	2 曜		15:00	⑤ 戦ふ兵隊 他 (計79分)	19:00	⑬ 東宝教育映画秀作選 (計103分)		
	3 曜		13:00	⑨ ハナ子さん (71分)	15:30	⑪ 歌へ! 太陽／東京五人男 (計135分)		
	4 日		15:00	⑪ 歌へ! 太陽／東京五人男 (計135分)	19:00	⑫ 或る夜の殿様 (112分)		
	5 日	13:00	⑨ ハナ子さん (71分)	15:30	⑬ 東宝教育映画秀作選 (計103分)	18:20	⑤ 戦ふ兵隊 他 (計79分)	
	6 日	12:30	⑪ 歌へ! 太陽／東京五人男 (計135分)	16:00	⑫ 或る夜の殿様 (112分)			
	8 曜	11/8 曜～13 日上映回の チケット販売開始: 11/1 曜10:00～	15:00	⑭ 三等重役 (98分)	19:00	⑳ サラリーマン出世太閤記 (87分)		
	9 曜		15:00	⑩ 喜劇 駅前弁当 (88分)	19:00	㉑ 社長道中記 (90分)		
	10 曜		15:00	⑯ 黒い画集 あるサラリーマンの証言 (95分)	19:00	㉒ 江分利満氏の優雅な生活 (102分)		
	11 日		15:00	⑳ サラリーマン出世太閤記 (87分)	19:00	㉑ 喜劇 駅前弁当 (88分)		
	12 日		12:30	⑭ 三等重役 (98分)	15:30	㉑ 社長道中記 (90分)	18:20	⑯ 黒い画集 あるサラリーマンの証言 (95分)
	13 日		13:00	⑳ サラリーマン出世太閤記 (87分)	16:00	㉒ 江分利満氏の優雅な生活 (102分)		
	15 曜	11/15 曜～20 日上映回の チケット販売開始: 11/8 曜10:00～	15:00	⑩ 姿三四郎[最長版](1943年作) (90分)	19:00	⑰ 宮本武蔵 (93分)		
	16 曜		15:00	④⑨ 幡随院長兵衛 (81分)	19:00	⑤⑩ 虎造の荒神山 (67分)		
17 曜	15:00		⑤① 青春の氣流 (87分)	19:00	⑤② 愛の世界 山猫とみの話 (93分)			
18 日	15:00		⑤③ 肖像 (73分)	19:00	⑤⑤ 殺陣師段平 (104分)			
19 日	12:30		⑰ 宮本武蔵 (93分)	15:30	⑤⑥ 戦国無頼[短縮版] (105分)	18:30	⑤④ ジャコ萬と鉄 (90分)	
20 日	12:30		⑩ 姿三四郎[最長版](1943年作) (90分)	15:30	⑤⑧ 姿三四郎(1965年作) (159分)			
22 曜	11/22 曜～27 日上映回の チケット販売開始: 11/15 曜10:00～	15:00	⑤② 愛の世界 山猫とみの話 (93分)	19:00	⑤⑦ あすなる物語 (108分)			
23 曜		13:00	⑤⑤ 殺陣師段平 (104分)	16:00	④⑨ 幡随院長兵衛 (81分)			
24 曜		15:00	⑤⑧ 姿三四郎(1965年作) (159分)	19:00	⑤⑥ 戦国無頼[短縮版] (105分)			
25 日		15:00	⑤⑦ あすなる物語 (108分)	19:00	⑤③ 肖像 (73分)			
26 日		13:00	⑤⑩ 虎造の荒神山 (67分)	15:30	④⑨ 幡随院長兵衛 (81分)	18:00	⑤① 青春の氣流 (87分)	
27 日		13:00	⑤② 愛の世界 山猫とみの話 (93分)	16:00	⑤④ ジャコ萬と鉄 (90分)			

▶ 次ページへ続く

■開場は開映30分前です。

■開映後の入場はできません。予告篇はございません。

■各日11:00に開館します。

# 東宝の90年 モダンと革新の映画史(2)

The 90th Anniversary of Toho: A Film History of Modernization and Innovation [Part 2]

11月	29日		15:00 20 鬼火／新しい背広 (計103分)	19:00 33 血とダイヤモンド (96分)
	30日	11/29日～12/4日上映回のチケット販売開始: 11/22日10:00～	15:00 38 白昼の襲撃 (89分)	19:00 45 誘拐 (109分)
	1日		15:00 24 国際秘密警察 火薬の樽 (96分)	19:00 25 野獣死すべし (96分)
	2日		15:00 45 誘拐 (109分)	19:00 20 鬼火／新しい背広 (計103分)
	3日	13:00 24 国際秘密警察 火薬の樽 (96分)	16:00 33 血とダイヤモンド (96分)	19:00 38 白昼の襲撃 (89分)
12月	4日	13:00 25 野獣死すべし (96分)	16:00 20 鬼火／新しい背広 (計103分)	
	6日		15:00 43 細雪 (140分)	18:40 46 世界の中心で、愛をさけぶ (138分)
	7日	12/6日～11日上映回のチケット販売開始: 11/29日10:00～	15:00 48 蝸ノ記 (129分)	18:40 47 悪人 (139分)
	8日		15:00 43 細雪 (140分)	18:40 48 蝸ノ記 (129分)
	9日		15:00 28 名もなく貧しく美しく (129分)	19:00 16 赤線基地 (90分)
	11日	12:30 46 世界の中心で、愛をさけぶ (138分)	16:00 47 悪人 (139分)	
	13日		15:00 31 マタンゴ (89分)	19:00 27 お姐ちゃんはツイてるぜ (87分)
	14日	12/13日～18日上映回のチケット販売開始: 12/6日10:00～	15:00 42 血を吸う薔薇 (83分)	19:00 37 華麗なる闘い (94分)
	15日		15:00 16 赤線基地 (90分)	19:00 27 お姐ちゃんはツイてるぜ (87分)
	16日		15:00 37 華麗なる闘い (94分)	19:00 42 血を吸う薔薇 (83分)
	17日	12:30 28 名もなく貧しく美しく (129分)	16:00 16 赤線基地 (90分)	19:00 31 マタンゴ (89分)
18日	13:00 27 お姐ちゃんはツイてるぜ (87分)	16:00 37 華麗なる闘い (94分)		
12月	20日		15:00 21 雪国 (133分)	19:00 23 こだまは呼んでいる (86分)
	21日	12/20日～25日上映回のチケット販売開始: 12/13日10:00～	15:00 18 男ありて (109分)	19:00 24 貸間あり (112分)
	22日		15:00 23 こだまは呼んでいる (86分)	19:00 15 ブーサン (97分)
	23日		15:00 19 夫婦善哉 (120分)	18:40 21 雪国 (133分)
	24日	12:30 15 ブーサン (97分)	15:30 24 貸間あり (112分)	18:45 19 夫婦善哉 (120分)
	25日	13:00 23 こだまは呼んでいる (86分)	16:00 18 男ありて (109分)	
				■開映後の入場はできません。予告篇はございません。



血を吸う薔薇

©1974 TOHO CO., LTD.



誘拐

©1997 TOHO CO., LTD.



世界の中心で、愛をさけぶ ©2004 東宝/TBS/博報堂/小学館/S・D・P

## チケットの購入方法

9月27日(火)以降、毎週火曜日10:00より、翌週(火～日)上映回のチケットを当館HPより公式チケットサイトにて各回の開映15分前までオンライン販売します。チケットぴあでの販売はありません。

クレジットカードまたはd払いで購入

→メールに届くQRコードの表示で入場

- ・スマホ画面での入場が可能です。
- ・手数料無料 ・座席選択可
- ・PC購入の方はQRコードをプリントアウトしてご持参ください。



国立映画アーカイブHP→

上映当日、当館1階窓口にて各回開映1時間前から5分前まで、チケットを若干販売します。座席選択はできません。窓口には必ず購入でき、座席選択可能なオンライン購入をお勧めします。オンライン完売となった場合も、当日の窓口販売はございますが、25枚のみとなります。

1階受付では、「NFAJニュースレター」(季刊)を販売しています。これは、国立映画アーカイブのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。

fiaf

国立映画アーカイブは、国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。

FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅八重洲南口より徒歩10分

\*上映をご覧になるお客様へ。チケットをお持ちのお客様も、開映後の入場はできません。お時間に余裕をもってお越しください。

お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600  
ホームページ: www.nfaj.go.jp

Twitter: @NFAJ\_PR Facebook: NFAJPR  
Instagram: nationalfilmarchiveofjapan